
童貞

まったりorz

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

童貞

【Nコード】

N1272B

【作者名】

まつたりorz

【あらすじ】

童貞男の独白。自己弁護。勘違い。言い訳。本当の気持ち。

今回はかりは、違うと思っていた。

メールもした。電話もした。食事も何度か行ったし、夜景だって観にいった。

もうこれは、告白するまでもない。
付き合っただけじゃないのか？すでに。
そう思った。

「私、今学校とか忙しいし、彼氏とか別にいらないなあ。」

そう彼女は、いやこのメスは言いやがったのだ。

告白する前に撃沈。というよりむしろ、先手を打たれたというところか。

付き合っつもりなど、ない、と。

女というものは、どうしてこうもあざといのか。

「女なんて、単純だよ。」

幼なじみの山吹は言う。

見た目も成績も運動も同じくらいのコイツと俺が、唯一違うのは、

女がいるか、いないか。

これは意外と大きな溝になってしまった。

今の俺は、幼なじみのコイツより、大学で出会った童貞仲間の方が気安い。

何故、俺がこんなにも劣等感を感じなければならないのか。

俺と山吹は一体何が違うのだ？

いや、違う。

俺は、別に女が必要ってわけじゃない。別に、焦ることないさ。

その気になりゃ彼女の一人や二人、、、

あの山吹にだって出来るんだから。

セックスだって、出来ないんじゃない。しないだけだ。

「重田くん、定期落ちてたよ。」

ほら、俺は、何もしくつても女が寄ってくるじゃないか。

コイツもわざとらしいなあ、上目使いなんかしちゃって。

でも、その表情結構かわいい。

親切だし、結構いいかも。

そうだ、俺が女と付き合えないのは、
きつと、全ての女の子に惚れるためなんだ。

これから、色々な女の子のかわいいとこに気付いて、色々な女の子
を好きになるためだ。

とか言っても、結局付き合いたいし、童貞脱出したいんだけどね。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1272b/>

童貞

2010年12月9日06時20分発行